



WAVE 42号

ウェーブ

- 2010年4月
- 2 食ワーカーズへ
エール
- 3 福祉政策
- 4 INFORMATION



めざせ！足腰の強いワーカーズ



一步踏み出す勇気が未来を作る

お弁当屋「旬」の場合

ワンコイン弁当の台頭に打撃を受けたのがこの間の事のように思えるのですが、最近では近所のスーパーに三百円を切るものが並び始めました。「価格で勝負はしない！」と強がってはみるものの、このご時勢です、売り上げの減少に歯止めがかからない、というのが多くの食ワーカーズの現状ではないでしょうか。そんな中で「旬」が健闘しているわけとは。

県庁所在地というロケーションに恵まれたわが「旬」でさえ、弁当のみの売り上げは急降下。とりわけ利益率の大きい高い価格の注文が途絶え、大枚をはたいて揃えた豪華なお重には埃が積もっている有様です。そんな状況の中、わずかながら時給を上げ、新メンバーを積極的に受け入れてこれたのは、二つの新規事業の取り組みがあったからです。ひとつは幼稚園の給食弁当で、もうひとつは社会福祉法人施設でのランチを提供する委託事業です。

幼稚園のお弁当を最初に始めたのは八年前。ある会で「旬」のお弁当を食べた園長先生からの依頼でした。「多くの幼稚園は給



食センターからお弁当をとっているが、内容がひどくて先生方がこどもに食べさせるのに苦労している。おたくのお弁当を食べさせたい」と。有難い申し出だったのですが、メニューの事や衛生面など心配の種も多く、メンバーでかんかんがくがくの議論を重ねた末の出発でした。でもその不安が解消し、孫のお弁当を作るような



楽しみな仕事に変わるのに、そう時間はかかりませんでした。よそのお弁当

より百円高いのですが、昨春から一圓、この四月からもう一圓の受注をいただいています。

障がいをもつ人たちのデイセンターでのランチ作りは、幼稚園給食以上の大英断でした。メンバーの四分の一が専従となり、別事業部を立ち上げました。健康者以上に食べることを大きな楽しみとしている人たちに、安心して心のこもった食事を提供できるのは、ワーカーズである私たち以外はない、という自負の賜物です。来春で五年目に入りますが、年々事業規模が増え、今年度は旬の全事業高の3分の1をしめるまでになっています。



デイセンターも幼稚園も、経営方針をたてた上での営業努力によって獲得したのなら、ちょっと鼻を高くして自慢したいところですが、両方とも、先方からお話のあった事、単に「運」が良かったにすぎません。でも今、確信を持って言えるのは、固定収入源をもつ事のありがたさ。日によって注文数が何百個と変わる、その日暮らしの水商売の弁当屋を続けていたら「旬」も未来図を描けなかったでしょう。

根本敏子(旬)



2009年12月 WNJ 全国会議での料理を、埼玉の食ワーカーズが担当しました。

食のワーカーズへ エールを送る 信頼と温かさを詰めて

経済不安のつる時代に、生活費を切り詰める気持ちは自然に生まれます。企業はどのようなワザを使っているのか？食品の値段を下げ、私たちの食品の適正価格への感覚を麻痺させていきます。心ある食ワーカーズがこんな時代に立ち向かうためには、なにが必要なのでしょう。

安い、手軽をコンセプトとして、売れるものを作る企業のお弁当は、見た目も華やかで、おいしそうにも見えます。290円の商品が並ぶコンビニでも大量生産のお弁当もここまで来たか、「う～ん」思わずうなってしまう。

では、ワーカーズがつくるお弁当とどこが違うのでしょうか。食材の違いは明らかですが、旬を取り入れ、手づくりするお弁当は、商品というより、食べる人を意識したお弁当です。人が人のためにつくる、地域のたくさんの人々の食卓を想像しながら作る、人から人へ伝わる信頼と温かさが詰まっている。そこがワーカーズの売りなのではないでしょうか。また、人の生活の大切な部分を担い、その事業が持続可能なものとしての価格設定なのではないでしょうか。コンビニのお

弁当と単純な価格競争はできません。

家族、食卓の崩壊が言われる中、食のワーカーズは、食のあり方を提案し、どんな風に、どんなものをつかって、どんな思いでつくっているか情報公開することで、より安心を高め信頼感につながります。そして、その共感を広げていくことで継続した顧客獲得につながると思います。

また、この厳しい時代を乗り切るためには、ワーカーズ間の連携も強めていく必要があります。共通なメッセージの発信、広告など単一のワーカーズだけでは難しいことを県内で連携し、ワーカーズの存在とお弁当の価値を見える方法で表現していきましょう。

浅草秀子 連合会副会長



大宮エリアに初 たすけあいワーカーズ「あいので」誕生

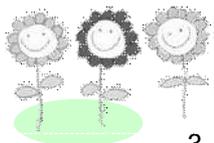
「あいので」の名前は「愛の手」にも通じます。歌の合間の「合いの手」のように私達の手助けが、当たり前暮らしができていく方々の心にはずみをつけて、困難を乗り越える力の一つになればと思いい名付けました。

只今、メンバーは16人で、事務所は大宮生活館の一部を借りています。4月からエコロコーディネート委託事業を始め、5月からの生活サポート事業開始に向けて、準備を進めています。障がいがあっても年をとっても、住み慣れた地域で暮らし続けるためには公的支援だけでは足りず、様々なサポートを必要とし

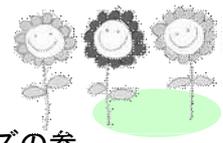
ます。手探りですが私達が望む地域を創る為に、ワーカーズのこと、たすけあいの方法等、メンバー内で共有していく、そして多くの仲間を増やし新しいワーカーズに発展していく…そんな大宮エリアにしたいと考えています。

後藤成美

ワーカーズコレクティブあいので
さいたま市大宮区土手町3-202-1
第2大野ハイツ1F大宮生活館内
tel 048-783-5374
ainote.20tasukeai@aria.ocn.ne.jp



埼玉ワーカーズ連合会における福祉政策と CCS発足について



3月4日、NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉(CCS)が7つのワーカーズの参加と運動グループの協力により設立され、生活クラブ生協埼玉の地域福祉政策がスタートしました。

埼玉におけるたすけあいワーカーズや福祉の政策は、運動グループやカリスマ的強力なリーダーシップがあって成立したわけではありません。それぞれのエリアにおいて様々な条件と必要性の中からそのエリアの特色を生かして、必要だと考えた人々によって設立されてきました。

介護保険が始まる以前には、先進的な人々によるたすけあいワーカーズの試みも数団体ありましたが、ワーコレ連合会発足当初の頃で、福祉の芽を包含出来なかった事は、今さらながら残念な事でした。それらの団体も、介護保険参入により事業として成り立っているように聞いておりますが、福祉事業をワーカーズコレクティブという方法で成り立たせるといふ事については、連合会としても力不足であり、生活クラブにおいても単なる介護福祉事業のデイホームであったわけです。

この10年を空白の10年とするか、飛躍の為の準備期間であったとするかは、これからの運動グループにおける地域福祉政策をどの様に発展させるかで評価されるのだと考えます。CCSはその為の機関であり、運動と事業の連結の場と考えます。やっと連合会と生活クラブの政策が一致し、共に協同して歩んでいける組織が出来ました。

ワーカーズコレクティブは三人からつくれる協同組合であり、小さなグループもワーカーズでできることを実証する場としてCCSに期待します。生活

クラブの組合員としても、自分達に必要なたすけあいのワーカーズを作りやすくするための中間支援組織として位置づけられると思います。

『地域福祉(コミュニティケア)とは、人が生まれ、死んでいく。当たり前の一生の中で必要な人々の営み、ひとりでは解決できないあらゆる事について、協同して解決しましょうという事です』

私達ワーカーズ連合会は業種の種類を問わず、連携し、ワーカーズの地域福祉政策をたてていきたいと思います。

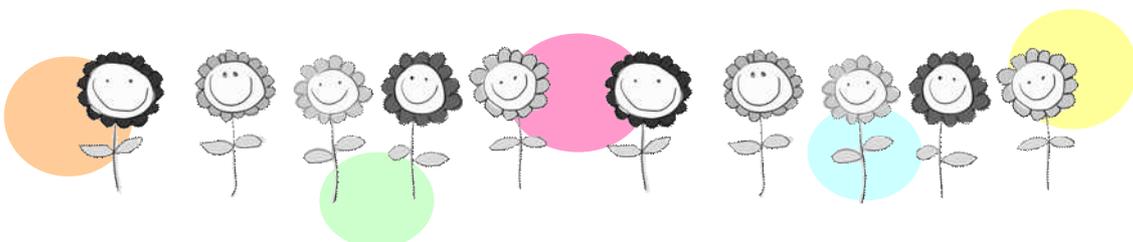
それぞれの事業の中で、この課題に対して問題意識をもち、積極的に解決の為のアクションを起こしていく必要があります。

井瀧 佐智子
福祉部門担当 CCS理事

CCS:NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉。生活クラブ生協が提唱した、参加型地域福祉実現のための組織。

運動グループ:生活クラブ運動グループ。「生活クラブ生協埼玉」「埼玉県市民ネットワーク」「埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会」「NPO大人の学校」そして「NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉」の5者のそれぞれの特性を生かし、豊かな地域を作ることを目的とした連携。

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会福祉部門:「青いそら」「みるく」(越谷エリア)「この指とまれ!」(川口エリア)「てとて」(熊谷エリア)「an」(狭山エリア)「輪っはっは」(所沢エリア)「あいのて」(大宮エリア)の7ワーカーズが参加。





**みんなで実現！ワーカーズ協同組合法
レイドロー報告 30 周年
60 年ぶりに新しい協同組合へ**

主催 ワーカーズ・コレクティブネットワーク ジャパン
生活クラブ連合会

シンポジウム
4月17日
* 御茶ノ水

ワーカーズ協同組合法の法制化の実現が近づいている今、私たちのこれからの活動の確認のためにシンポジウムが開かれました。

200名の参加者で開かれたシンポジウムは、法制化をめざす市民会議会長の笹森清氏の来賓スピーチから始まりました。「働くことは生きること。雇用労働が破壊された今、この法律がどうしても必要。800の自治体が後押ししている」と力強く語りました。

第1部から3部まで、地域のワーカーズや連合

組織から、法制化と働く人としての公的な保障を必要としていることが報告され、そこまで来たワーカーズ協同組合法の制定への期待が話されました。

最後に大会アピールが採択され、働く人の協同組合運動のうねりを大きくしていくこと、私たちの望む法律にしていくための活動を強化することが確認されました。

レイドロー報告：1980年のICA(国際協同組合同盟)大会において報告され、日本のワーカーズ・コレクティブ運動の契機となった。



ワーカーズをもっと知りたい人、もっと広めたい人のために。

「ホップステップワーカーズ
起業のためのガイドブック」
埼玉 W.Co 連合会発行 500円

「地域で暮らし続けるために 共に支える
ワーカーズコレクティブの福祉事業事例紹介」
WNJ発行 500円

「第9回ワーカーズ・コレクティブ
全国会議 in 埼玉」の記録集も作成中です。
乞うご期待！！

ワーカーズってなに？出前講座ワーカーズのことを知りたい方、働き方に興味ある方、ワーカーズを立ち上げようとしている方

講師派遣します

2時間 1万円+交通費
(関係団体は5千円)



《あとがき》 千葉の棚田のオーナーになって今年で田植えは6回目。この3年間は長女の彼氏も参加している。しかし今年の彼と去年の彼とは違う人物。娘の父親は複雑な気分のようなのだが、田植えの後はすんなり受け入れていた。田植えがしたいと言う人間に悪いやつはいないだろうということか。自然も娘も思い通りにならないのは当然のこと。娘のことより私には今年の天候が気がかりだ。(ふ)

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行・・・埼玉ワーカーズコレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者・・・後藤成美 編集・・・広報チーム 福島/齊藤 / 大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話 048-844-0221 FAX048-838-7884

<http://saitama-workers.com/>